



# 2011年度 決算説明会

2012年 5月 18日

日本軽金属株式会社

- 
1. 2011年度 決算の概要
  2. 2012年度 業績予想
  3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況
  4. 純粹持株会社体制への移行について





1. 2011年度 決算の概要

2. 2012年度 業績予想

3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況

4. 純粹持株会社体制への移行について

## 2011年度決算 — 前期比



(億円)

	2011年度 実績	2010年度 実績	差異
売上高	4,030	4,294	△264 (△6.2%)
営業利益	137	247	△110 (△44.7%)
経常利益	97	185	△88 (△47.6%)
当期純利益	29	110	△81 (△74.1%)
有利子負債	1,877	1,908	△31
ネットDEレシオ	1.5倍	1.5倍	—
R O C E	4.9%	8.4%	△3.5p

## セグメント情報 — 前期比



※ 2010年度については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

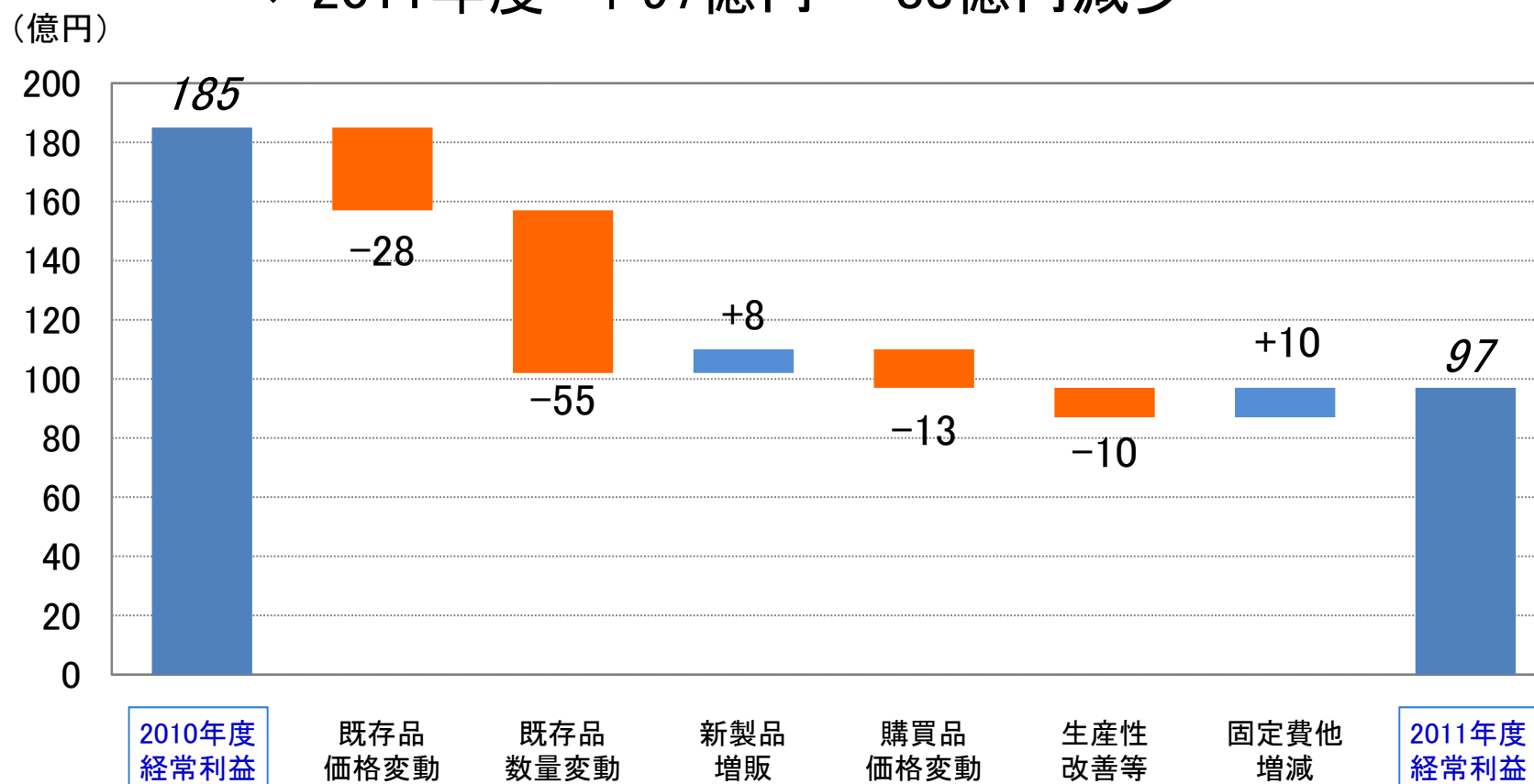
	売上高			営業利益		
	2011年度 実績	2010年度 実績	差異	2011年度 実績	2010年度 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	996	1,074	△78 (△7.3%)	52	68	△16 (△22.9%)
板、押出製品	706	776	△70 (△9.0%)	16	51	△35 (△69.1%)
加工製品、 関連事業	1,280	1,279	+1 (+0.0%)	64	53	+11 (+21.4%)
箔、粉末製品	1,048	1,165	△117 (△10.0%)	34	102	△68 (△66.8%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△29	△27	△2
合 計	4,030	4,294	△264 (△6.2%)	137	247	△110 (△44.7%)

# 経常利益変化要因 - 前期比



2010年度 +185億円

⇒ 2011年度 +97億円 88億円減少



## 主要会社の業績 — 前期比



(億円)

	2011年度 実績				2010年度 実績			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	1,305	1	25	33	1,476	50	57	46
東洋アルミニウム (連結)	1,056	34	28	4	1,172	100	91	53
日軽エムシーアルミ (連結)	472	7	6	4	489	9	8	7
日本フルーフ (連結)	470	24	21	10	452	22	19	14
日軽金アクト	323	16	18	11	311	18	19	13

# キャッシュ・フロー計算書



## 2011年度

<源泉>	<使途>
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b> 195億円 税引前当期純利益 95 減価償却費 170 運転資金 △32 法人税他 △38	<b>固定資産の 取得支出等</b> 183億円
<b>長期借入金</b> 368億円 長期借入 268 ハイブリッドファイナンス 100	<b>社債償還、借入返済</b> 424億円 社債償還 190 約定弁済等 234
現金・同等物の減少 57億円	配当金支払い 13億円

## 2010年度

<源泉>	<使途>
<b>新日軽に対する 貸付金の回収</b> 200億円	<b>新日軽資金の返済</b> 300億円
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b> 265億円 税引前当期純利益 164 減価償却費 158 運転資金 △75 その他 18	新日軽保有現預金の減少 46億円
現金・同等物の減少 35億円	<b>固定資産の 取得支出等</b> 144億円 調達、約定弁済 10億円





1. 2011年度 決算の概要

2. 2012年度 業績予想

3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況

4. 純粹持株会社体制への移行について

## 通期業績予想 — 前期比



(億円)

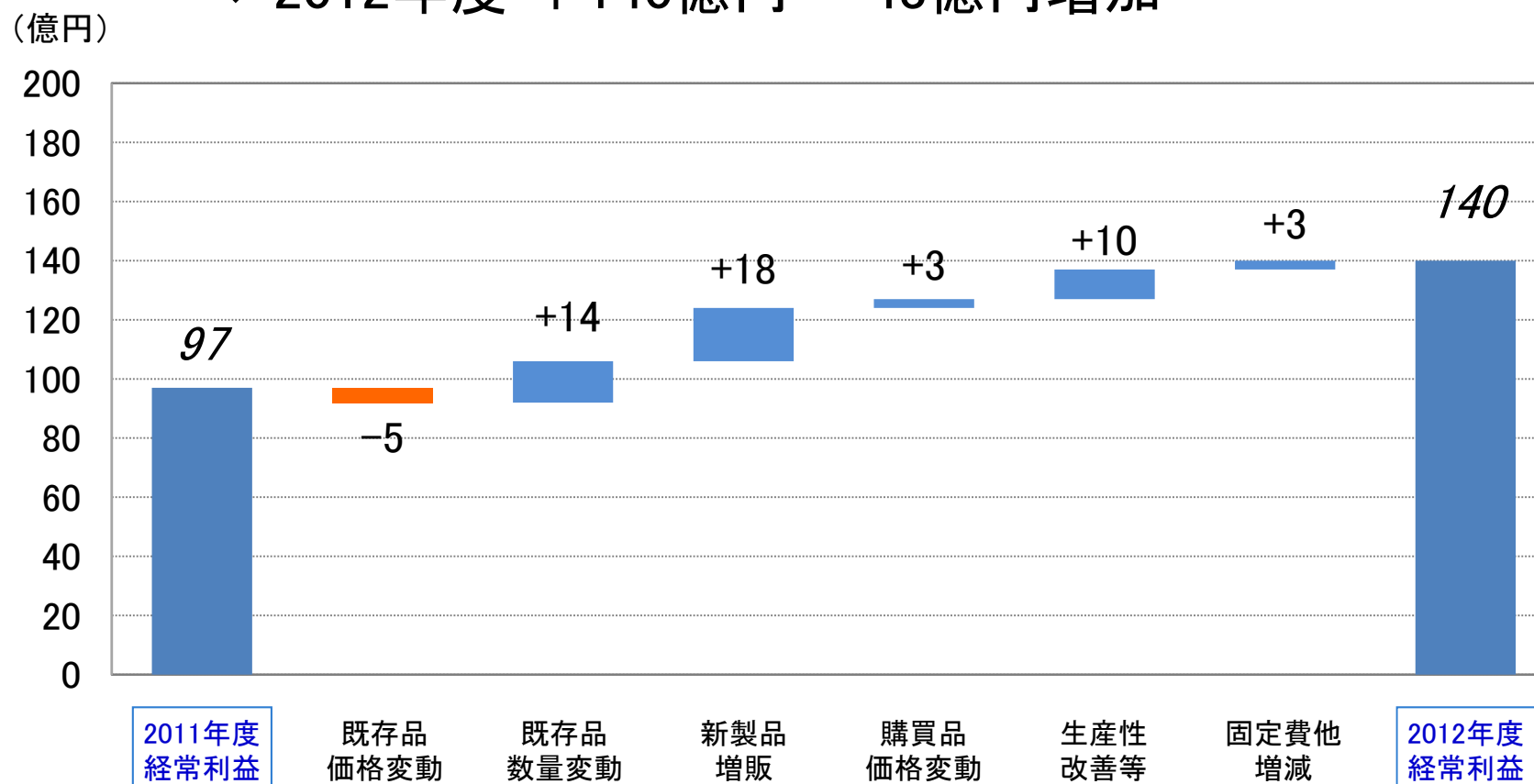
	2012年度 予想	2011年度 実績	増減
売上高	4,000	4,030	△30 (△0.7%)
営業利益	175	137	+38 (+28.1%)
経常利益	140	97	+43 (+44.2%)
当期純利益	85	29	+56 (+197.6%)
有利子負債	1,830	1,877	△47
ネットDEレシオ	1.4倍	1.5倍	△0.1倍
R O C E	6.6%	4.9%	+1.7p

# 経常利益変化要因

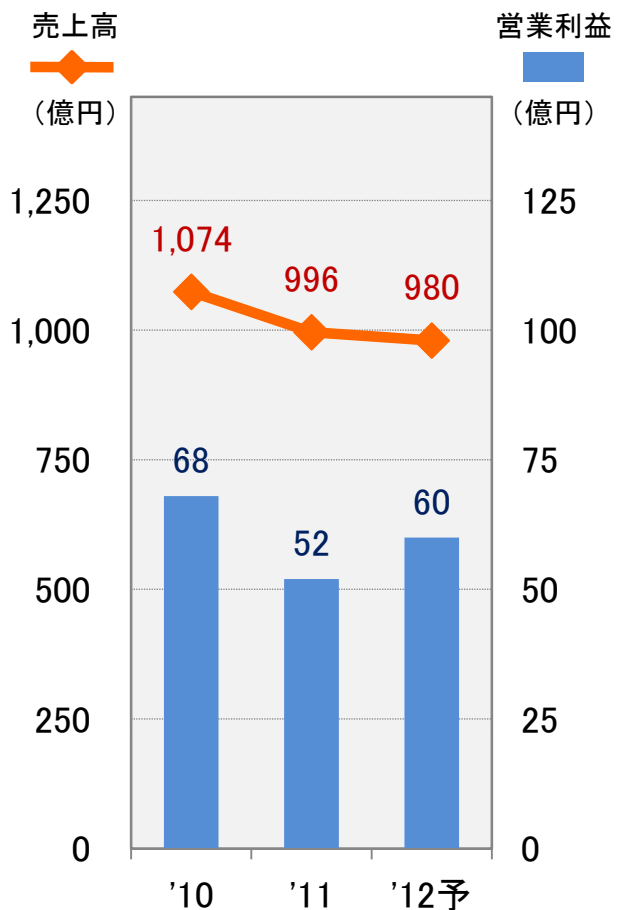


2011年度 +97億円

⇒ 2012年度 +140億円 43億円増加



# アルミナ・化成品、地金



## アルミナ・化成品

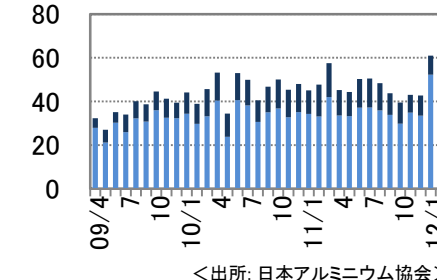
- アルミナ・水酸化アルミの出荷は前年並みも、円高で輸出品の苦戦続く
- 化学品は概ね堅調な推移を見込む
- 重油を始め原燃料価格が上昇
- 高付加価値品の拡販と価格是正により収益回復

## 日軽エムシーアルミ

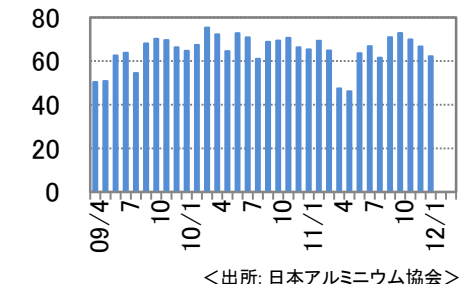
- 国内需要は堅調見込みも、円高と現調化加速により徐々に減少  
※日本アルミニウム合金協会需要予測  
 12年度: 1,508千トン/年(+1.7%)
- 海外は堅調が続くが、タイでの燃料コスト上昇が収益を下押し

	12年度 上期			12年度 下期			12年度 合計		
	予想	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	69.7	62.8	+11%	70.0	71.9	△3%	139.7	134.7	+4%
海外	54.6	45.0	+21%	53.8	49.9	+8%	108.4	94.9	+14%
合計	124.3	107.8	+15%	123.8	121.8	+2%	248.1	229.6	+8%

(千トン) アルミナ需要

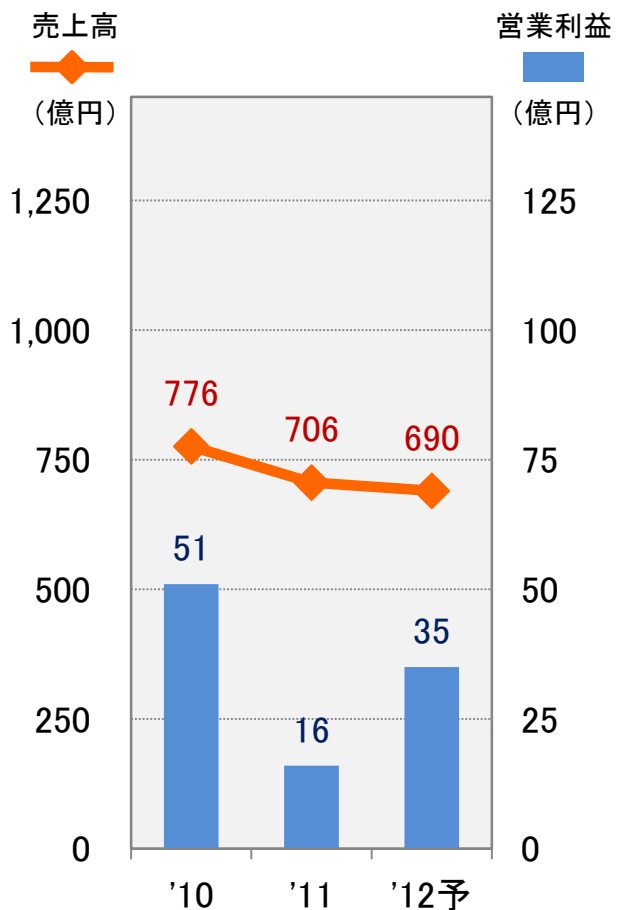


(千トン) 二次合金需要





# 板、押出製品



※ 2010年度は、押出加工関連子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替えています。

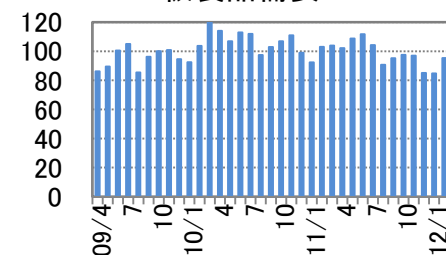
## 板

- コンデンサ向けに底打ち感も、厚板の動向は依然不透明
  - 輸送向けを始め全般的には回復見込む
- ※日本アルミニウム協会 板類需要予測  
12年度内需：1,012千トン(+1.6%)

板事業部販売量 (千トン)

	12年度 上期			12年度 下期			12年度 合計		
	予想	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
	36.8	39.3	△6%	40.7	36.3	+12%	77.5	75.6	+3%

(千トン) 板製品需要



<出所: 日本アルミニウム協会>

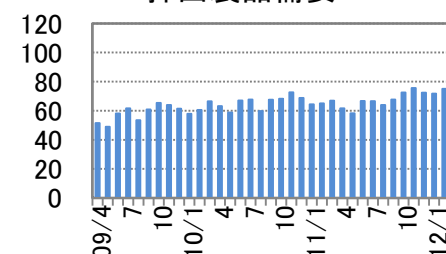
## 日軽金アクト

- 自動車部品、トラック向けが好調持続
  - 鉄道向け、OA機器向けは低調
  - 全体では前年並みを予想
- ※日本アルミニウム協会 押出類需要予測  
12年度内需：838千トン(+2.7%)

日軽金アクト販売量 (千トン)

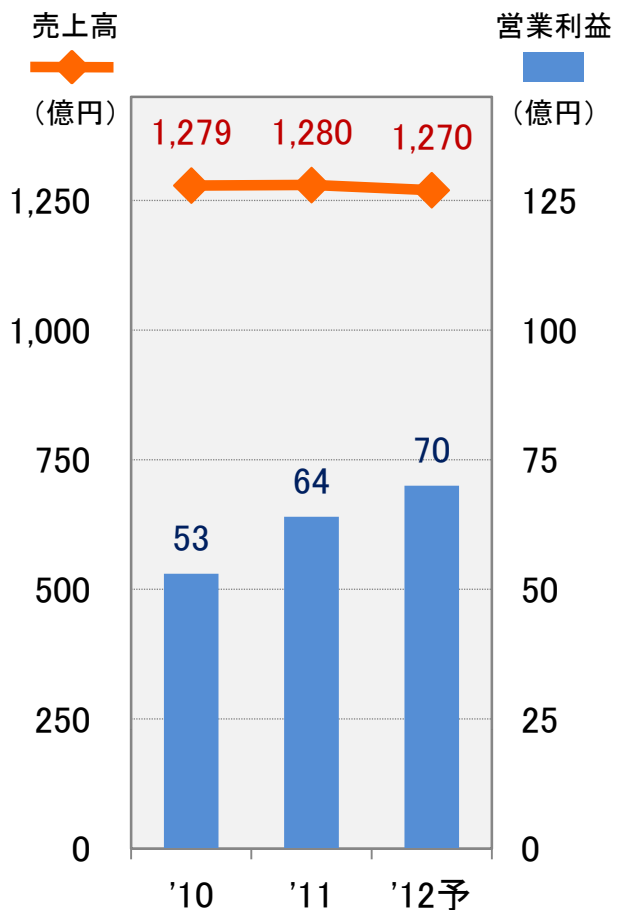
	12年度 上期			12年度 下期			12年度 合計		
	予想	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
	19.0	18.6	+2%	18.9	19.3	△2%	37.9	37.9	0%

(千トン) 押出製品需要



<出所: 日本アルミニウム協会>

# 加工製品、関連事業



※ 2010年度は、押出加工関連子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替えています。

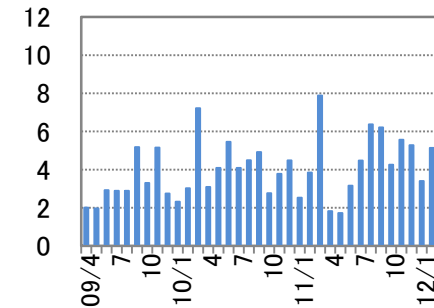
## 日本フルハーフ

- エコカー補助金によりトラック需要堅調
- 上期は高操業率が続く見込みだが、補助金終了後の反動減が懸念
- 丛林福祿好富は12年夏量産開始予定
- オールアルミトレーラを13年度販売開始
- タイにおけるビジネスモデルを検討

## 日軽パネルシステム

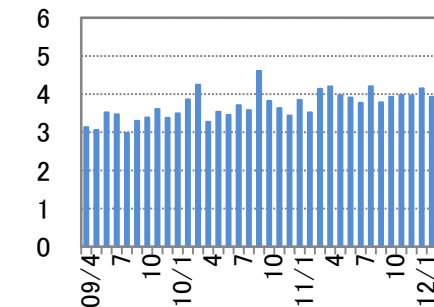
- 冷凍・冷蔵分野ではコンビニ、スーパー、食品加工、低温流通向けの好調が続く
- クリーンルーム分野ではバイオ医薬分野向けの伸びが予想されるが、全体では前期比横ばい
- 全体としての販売量は、前期を上回る見込み

(千台) 普通トラック登録台数



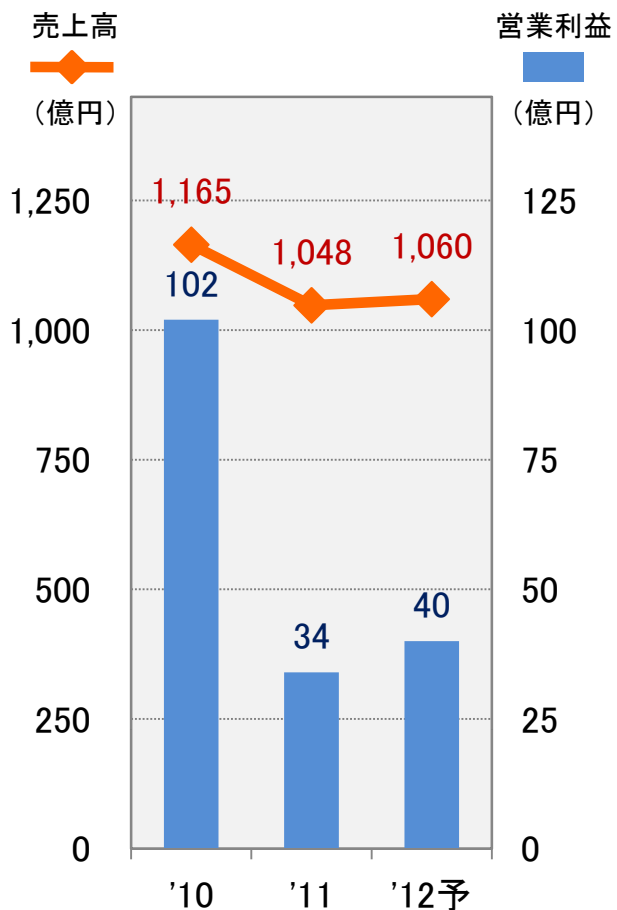
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(百万㎡) 建築着工床面積(非居住)



<出所: 国土交通省>

# 箔、粉末製品



## 東洋アルミニウム

### <箔事業>

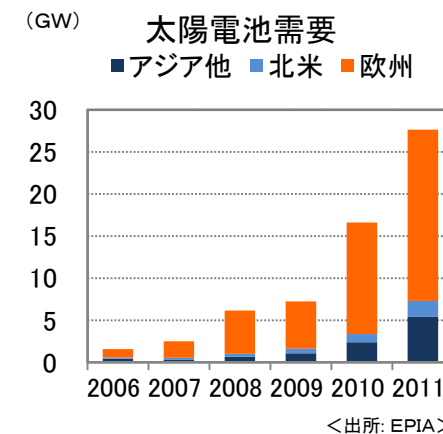
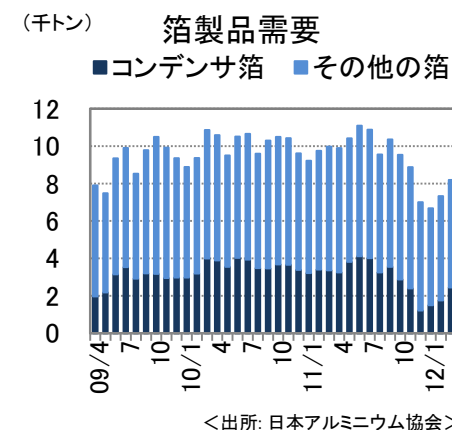
- コンデンサ箔の出荷はQ3が底に回復を見せているが、力強さがない
- LiB向けで外装用、正極材用が伸長
- 医薬品用、乳業用は前期並みを見込み、箔事業全体としては増加を予想

### <ペースト事業>

- 自動車向けは生産台数回復も、シルバーの減少で前期並み
- 飲料パッケージ向けインキ用や新製品の化粧品用顔料、自動車用ガラスフレーク顔料などが好調。全体では増加を予想

### <電子機能材事業>

- バックシートは販売量が回復を見せるが、価格競争が依然厳しい
- 電極インキは需要低迷、価格競争続く
- 新規格品の投入、コストダウンにより収益回復を図る



## セグメント情報 - 前期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2012年度 予想	2011年度 実績	差異	2012年度 予想	2011年度 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	980	996	△16 (△1.6%)	60	52	+8 (+14.8%)
板、押出製品	690	706	△16 (△2.3%)	35	16	+19 (+123.1%)
加工製品、 関連事業	1,270	1,280	△10 (△0.8%)	70	64	+6 (+9.5%)
箔、粉末製品	1,060	1,048	+12 (+1.1%)	40	34	+6 (+17.6%)
管理・共通	—	—	—	△30	△29	△1
合 計	4,000	4,030	△30 (△0.7%)	175	137	+38 (+28.1%)



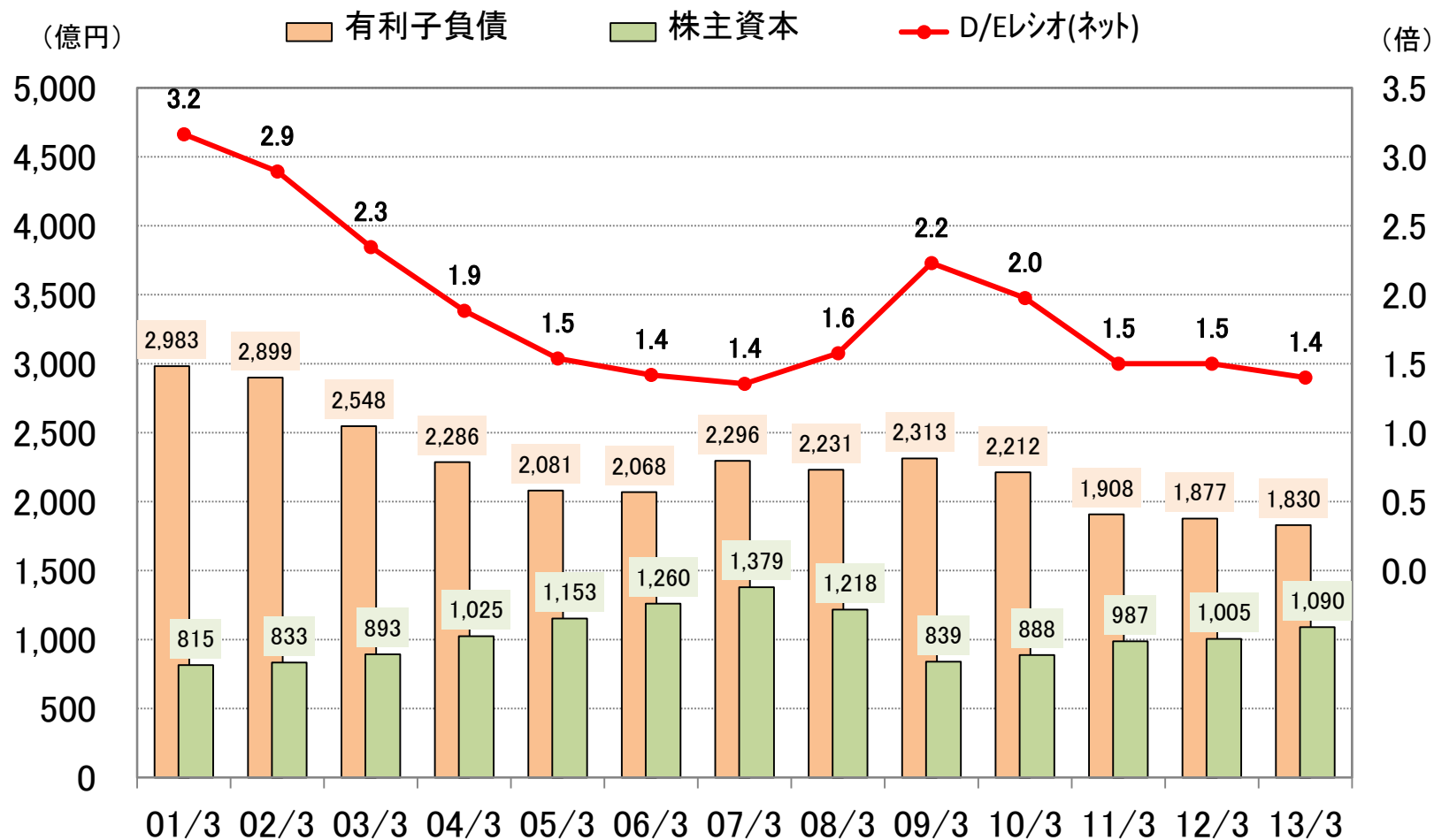
## 主要会社の業績予想



(億円)

	2012年度 予想				2011年度 実績			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	1,235	14	34	34	1,305	1	25	33
東洋アルミニウム (連結)	1,068	40	40	30	1,056	34	28	4
日軽エムシーアルミ (連結)	486	9	8	6	472	7	6	4
日本フルーフ (連結)	481	26	25	15	470	24	21	10
日軽金アクト	328	19	20	14	323	16	18	11

# 株主資本と有利子負債、D/Eレシオの推移





1. 2011年度 決算の概要

2. 2012年度 業績予想

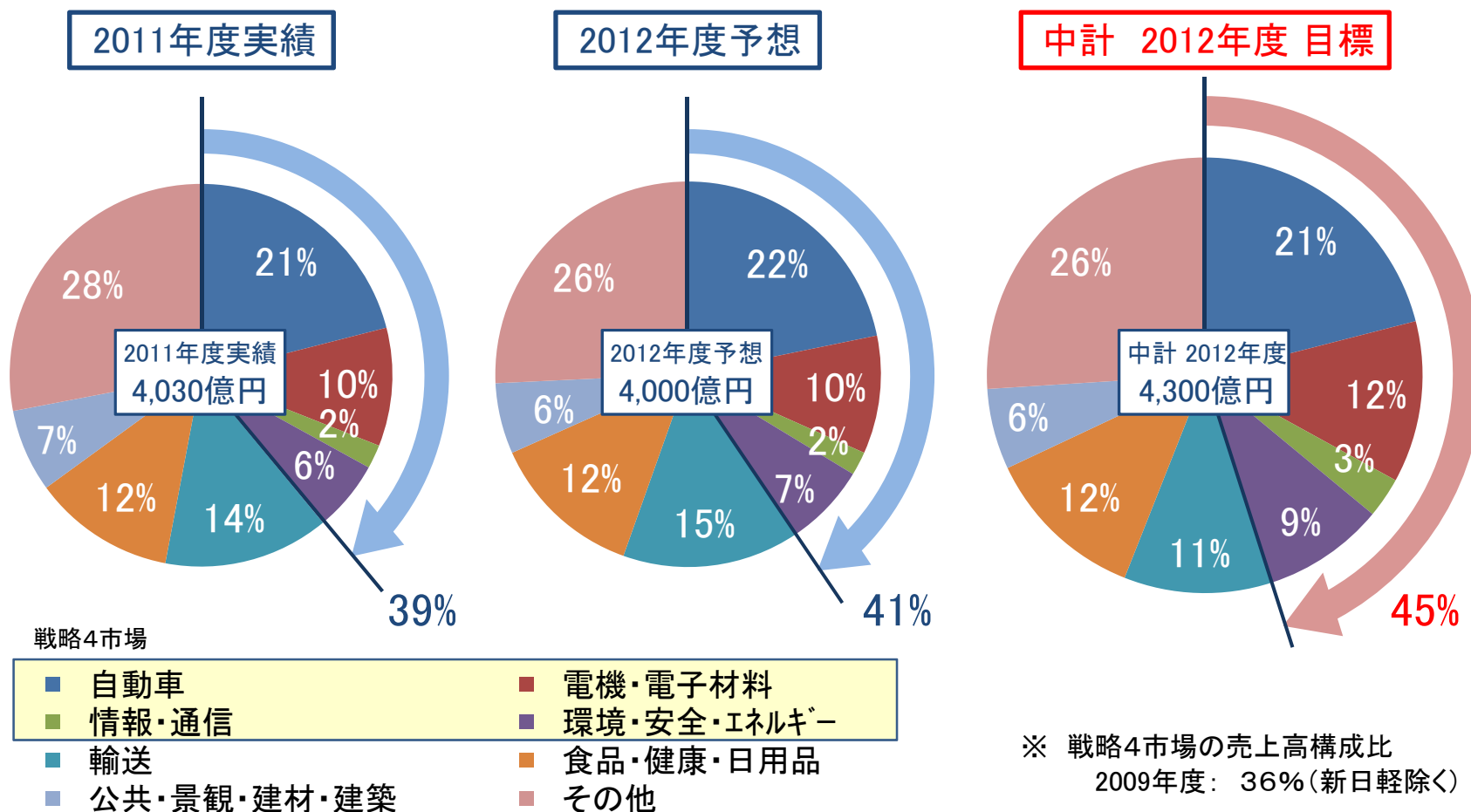
**3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況**

4. 純粹持株会社体制への移行について

# 成長市場への取り組み



## 戦略4市場の売上高構成比





## 業界No.1ビジネスの強化（1）



### 東洋アルミニウム

#### M&Aによる事業強化

- 箔事業： 「サンアルミニウム工業」の株式取得(12年10月予定)  
(1)グローバル競争に耐えるコスト競争力の強化  
(2)生産設備の効率的な活用による生産性の向上  
(3)生産のリスク分散による安定供給対応力の向上
- ペースト事業： 11年4月に子会社化した「昭和アルミパウダー(株)」を12年4月吸収合併  
⇒ シンプルな組織による経営効率の向上、コストダウンを狙う
- 電子機能材事業： 09年12月に中国でパウダーメーカーを買収。設備増強実施

#### 新商品

- 箔事業： (コンデンサ分野) トーヤルカーボ、トーヤルチタン、トーヤルパス  
(食品分野) トーヤルロータス  
(医薬品分野) リードマックス、アルプレス
- ペースト事業： クロマシャイン(干渉アルミ)、コスミカラー(化粧品用顔料)、  
ガラスフレーク顔料(自動車塗料用)
- 電子機能材事業： トーヤルソーラー(バックシート)・・・コストダウン品投入  
アルソーラー(電極インキ)・・・変換効率向上品投入

## 業界No.1ビジネスの強化（2）



### 日本フルハーフ

#### 設備投資

- 12年度計画 13億円（11年度 4億円）
- ・ライン改造(省力化・合理化)による能力増強
  - ・新商品開発

#### 新商品

- 12年度販売開始予定
- ・コンテナデータセンター



- 13年度販売開始予定
- ・オールアルミトレーラ



### 日軽パネルシステム

#### 設備投資

- 12年度計画 7億円（11年度 2億円）
- ・ライン改造(省力化・合理化)による能力増強
  - ・生産ライン新設
  - ・新商品開発

#### 新商品

- ・医薬クリーンルーム向けパネル拡販(11年度市場投入)  
高気密性、低コスト
- ・新型ノンフロンパネル開発

## 業界No.1ビジネスの強化（3）



### 化成品事業部

#### 原料転換

- ・ユーザーによる品質確認が終了 ⇒ 12年夏に完全移行の見込み
- ・原料転換に係る主な設備投資(2009年度～2012年度):  
輸入水アル保管倉庫、再溶解設備など 約80億円

#### 高付加価値品拡販

##### 高純度アルミナ

- ・11年9月増設完了（年産1,000トン体制へ）
- ・次期増設を検討

##### 遷移アルミナ

- ・12年8月増設設備稼働予定（年産220トン体制へ）
- ・自動車触媒、精密研磨材 → 用途拡大に期待

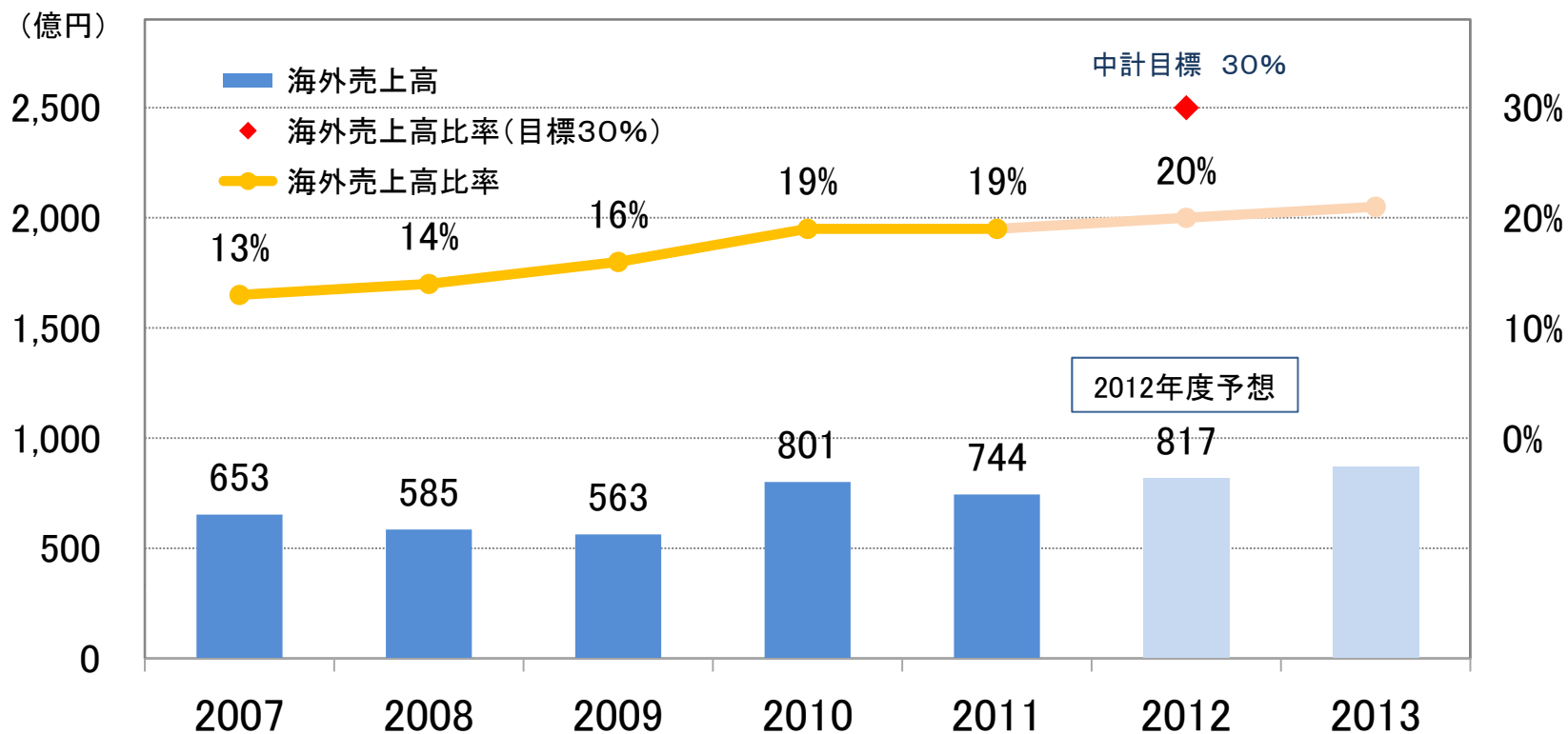
##### 次亜塩素酸ナトリウム

- ・特級品対応（高品位化）
- ・12年4月から本格販売

# 海外展開の加速（1）

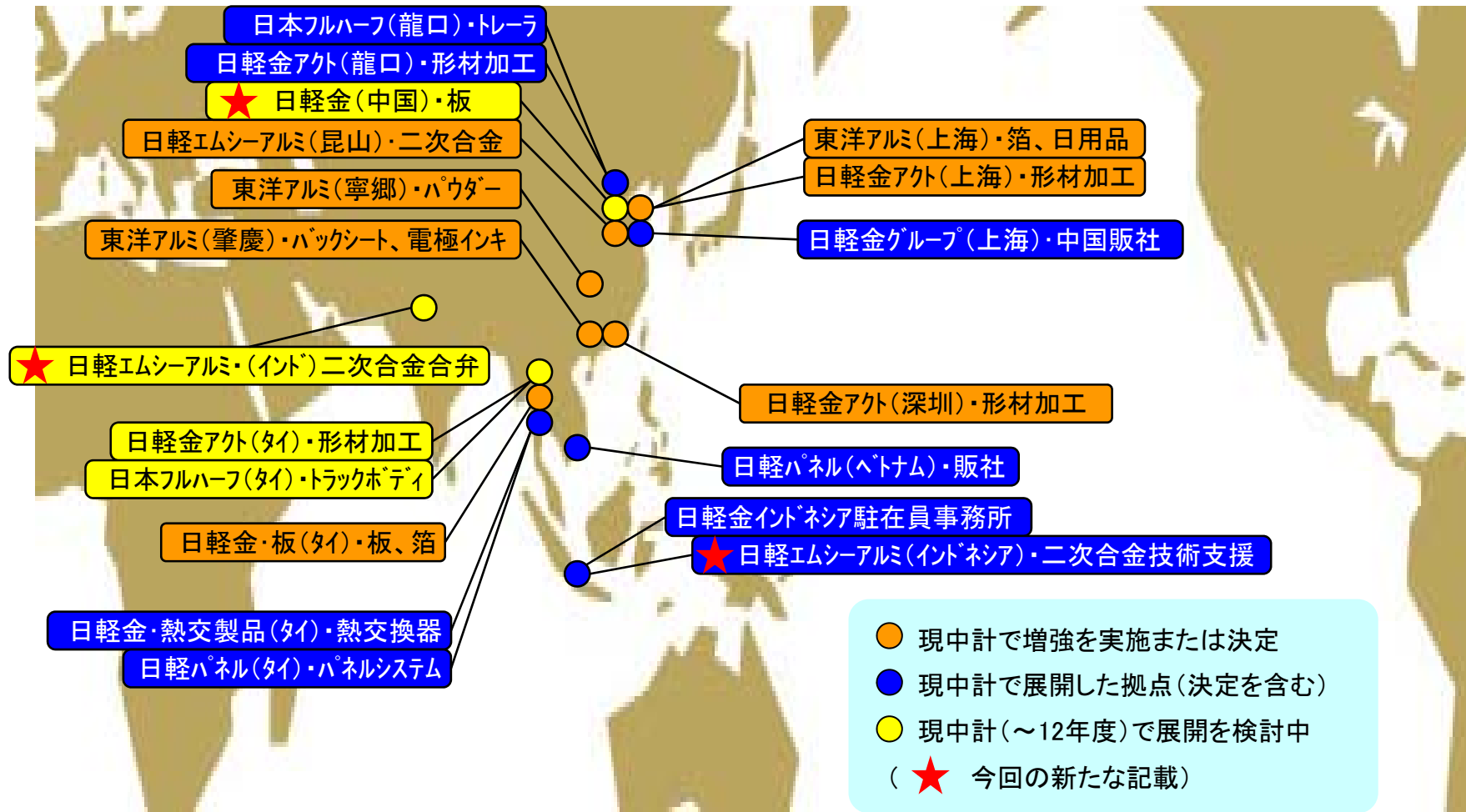


## 海外売上高





# 海外展開の加速 (2)



## 海外展開事業の現状（1）



### 日軽金 板事業部： <タイ ニッケイ・サイアム>

冷間圧延機増設(17,000トン/年→38,000トン/年)により  
自動車熱交用板材、箔などを増産  
⇒ 12年7月 量産開始予定

### 日軽金 熱交事業部： <タイ 熱交製品工場>

11年10月、ルームエアコン用熱交換器の新工場が生産開始  
受注増加を受け増設を決定(200千台/年→400千台/年)  
⇒ 12年4月 増設完了、5月 稼働開始

### 日軽パネルシステム： <タイ パネル工場>

食品コールドチェーン向け、工業用クリーンルーム向け内装パネル新工場  
⇒ 12年7月 生産開始予定

## 海外展開事業の現状（2）



### 日軽金アクト： <中国 日軽(上海)自動車配件>

加工ライン増設により自動車部品(サンルーフレール、足回り部品など)を増産

2011年： 11ライン(23車種) ⇒ 15ライン(31車種)

2012年： 工場拡張と4～6ライン増設予定

### 日軽金アクト： <中国 山東日軽丛林汽車零部件>

押出型材の加工により自動車部品(足回り部品、バンパーなど)、

トラック部品(アオリ、観音ドアなど)を生産・販売

⇒ 12年3月設立、6月 生産開始予定

### 日本フルハーフ： <中国 山東丛林福祿好富汽車>

丛林集団等との合併でトレーラビジネス展開

11年10月発足 → 試作、ライン整備

⇒ 12年夏 量産開始予定



1. 2011年度 決算の概要

2. 2012年度 業績予想

3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況

4. 純粹持株会社体制への移行について

## 持株会社移行の目的



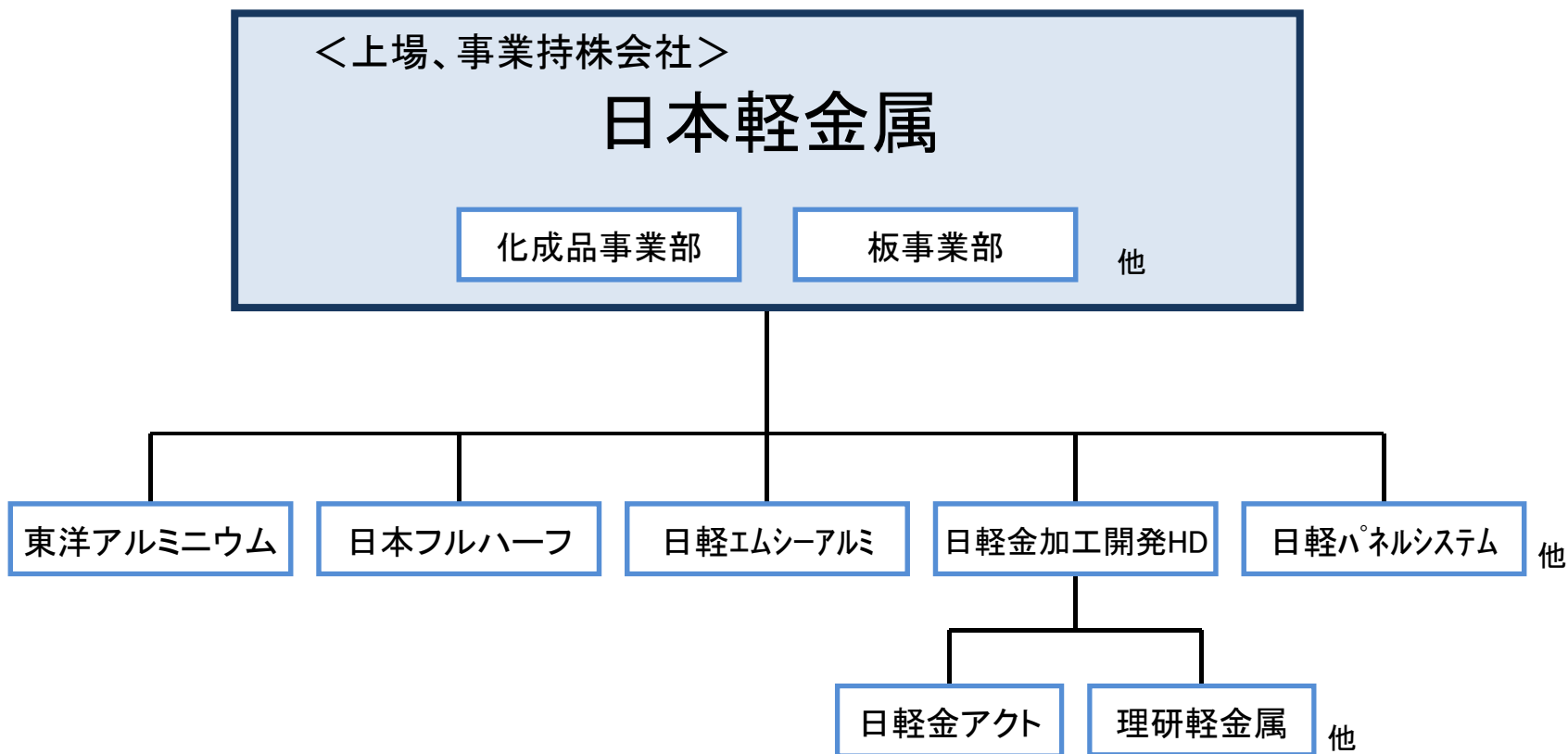
- ◆ 連結経営体制への変革
  - ◆ 経営と執行の分離を、より徹底
  - ◆ 持株会社による経営戦略立案と効果的な経営資源の配分



- グループの持続的発展と企業価値向上
- 高度化・多様化するニーズへの対応
- さまざまな産業分野へのサポートを通じて、人々の暮らしの向上に貢献



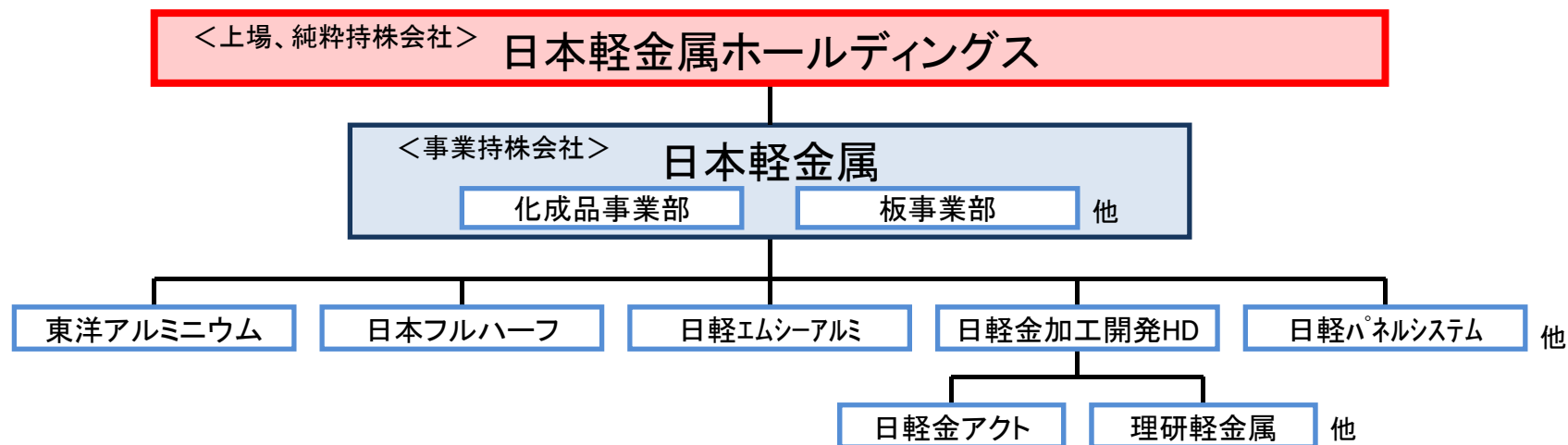
# 現在の日軽金グループ



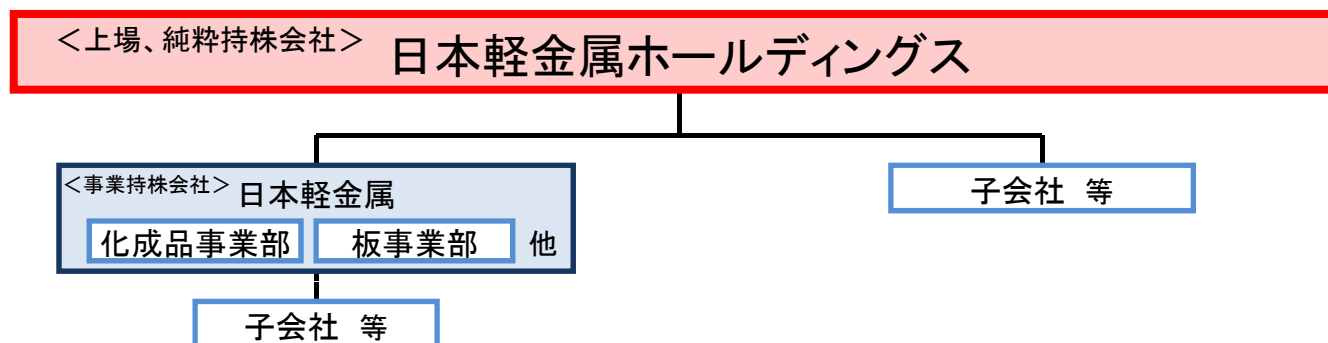
# 移行方法



第1ステップ： 株式移転による純粋持株会社の設立（2012年10月1日予定）



第2ステップ： 子会社株式の一部を日軽金HDに譲渡



## 日程



5月15日 取締役会承認 ⇒ 公表

15日以降 従業員、取引先、株主等への説明

18日（本日） 決算説明会

6月28日（予定） 株主総会承認（特別決議 3分の2超の賛成）

9月26日（予定） 現日軽金上場廃止

10月 1日（予定） <第1ステップ> 持株会社設立、上場  
株式移転比率 = 持株会社株式 1：現日軽金株式 1

1日以降 <第2ステップ> 子会社株式の一部を持株会社  
へ移管

※ 今後の予定につきましては事情により変更されることがあります。

## 持株会社の概要(予定)



項目	内容
商号	日本軽金属ホールディングス株式会社 (英文名: Nippon Light Metal Holdings Company, Ltd.)
本店所在地	東京都品川区東品川2丁目2-20
主な事業内容	子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する業務
資本金	39,085百万円
設立日	平成24年10月1日(予定)
決算期	3月31日
単元株式数	100株 <現在1,000株>

※ 今後の予定につきましては事情により変更されることがあります。



# アルミにこだわり、 アルミを超えていく

 **NLM 日本軽金属株式会社**

## 本資料についての注意事項

1. 本資料は2013年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

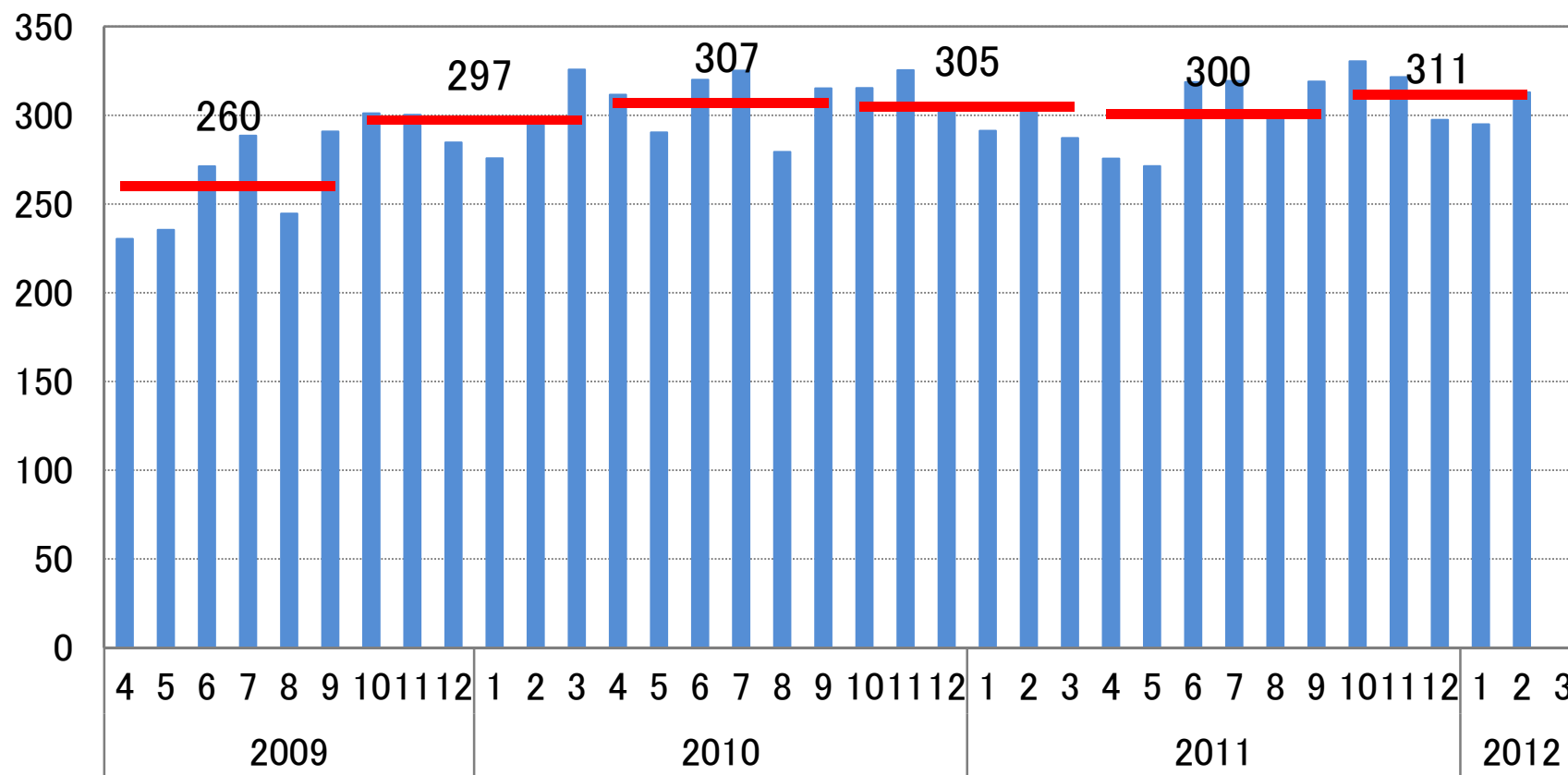


補足資料

# 国内アルミ製品総需要の推移

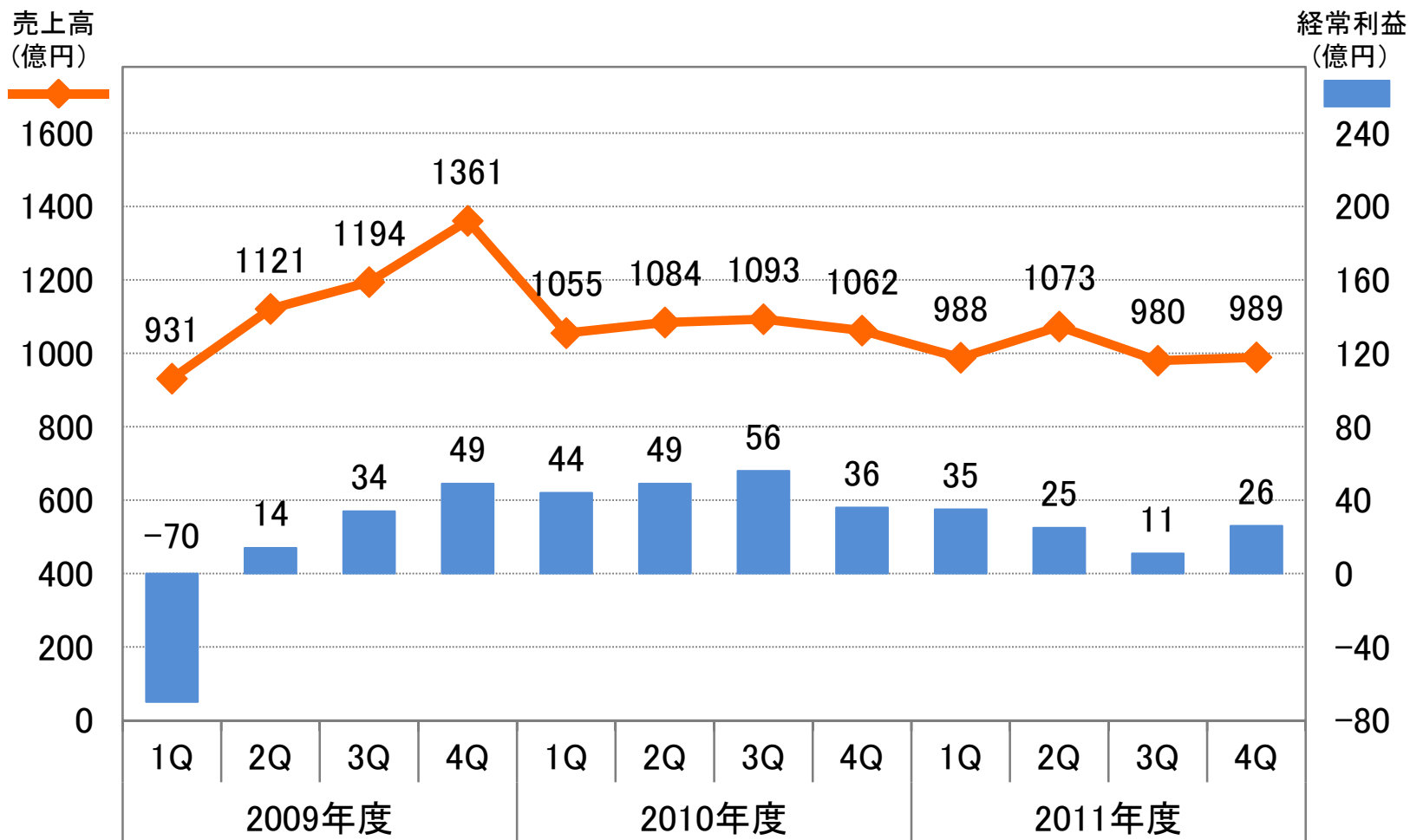


(千トン)



<出所:日本アルミニウム協会>

# 四半期連結業績推移



# 経常利益



(億円)

	2011年度 実績	2010年度 実績	前期比	2011年度 期初予想	期初予想比
経常利益	97	185	△88	145	△48

(億円)

前期比 △88億円 の内訳	
営業利益の減少	△110
持分法損益の改善	+3
為替差額の改善	+7
その他	+12

(億円)

期初予想比 △48億円 の内訳	
営業利益の減少	△63
支払利息の減少	+4
持分法損益の改善	+3
その他	+8

# 当期利益



(億円)

	2011年度 実績	2010年度 実績	前期比	2011年度 期初予想	期初予想比
当期損益	29	110	△81	85	△56

(億円)

前期比 △81億円 の内訳	
経常利益の減少	△88
特別利益の計上	+7
特別損失の減少	+11
税金費用の増加	△15
少数株主利益の減少	+4

(億円)

期初予想比 △56億円 の内訳	
経常利益の減少	△48
特別利益の計上	+7
特別損失の計上	△10
税金費用の増加	△2
少数株主利益の増加	△3

## 2011年度決算 — 期初予想比



(億円)

	2011年度 実績	2011年度 期初予想	差異
売上高	4,030	4,200	△170 (△4.0%)
営業利益	137	200	△63 (△31.7%)
経常利益	97	145	△48 (△33.0%)
当期純利益	29	85	△56 (△66.4%)
有利子負債	1,877	1,966	△89
ネットDEレシオ	1.5倍	1.5倍	—
R O C E	4.9%	6.9%	△2.0p



## セグメント情報 — 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2011年度 実績	2011年度 期初予想	差異	2011年度 実績	2011年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	996	930	+66 (+7.1%)	52	65	△13 (△19.6%)
板、押出製品	706	750	△44 (△5.8%)	16	35	△19 (△55.2%)
加工製品、 関連事業	1,280	1,205	+75 (+6.2%)	64	30	+34 (+113.1%)
箔、粉末製品	1,048	1,315	△267 (△20.3%)	34	100	△66 (△66.0%)
管理・共通	—	—	—	△29	△30	+1
合 計	4,030	4,200	△170 (△4.0%)	137	200	△63 (△31.7%)

## 設備投資・減価償却費 — 前期比



※ 2010年度については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

	設備投資			減価償却費		
	2011年度 実績	2010年度 実績	差異	2011年度 実績	2010年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	87	34	+53	39	35	+4
板、押出製品	46	37	+9	40	41	△1
加工製品、関連事業	40	22	+18	34	34	—
箔、粉末製品	59	61	△2	57	48	+9
合計	232	154	+78	170	158	+12

## 設備投資・減価償却費 — 期初予想比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2011年度 実績	2011年度 期初予想	差異	2011年度 実績	2010年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、地金	87	118	△31	39	40	△1
板、押出製品	46	47	△1	40	35	+5
加工製品、関連事業	40	49	△9	34	40	△6
箔、粉末製品	59	121	△62	57	50	+7
合計	232	335	△103	170	165	+5

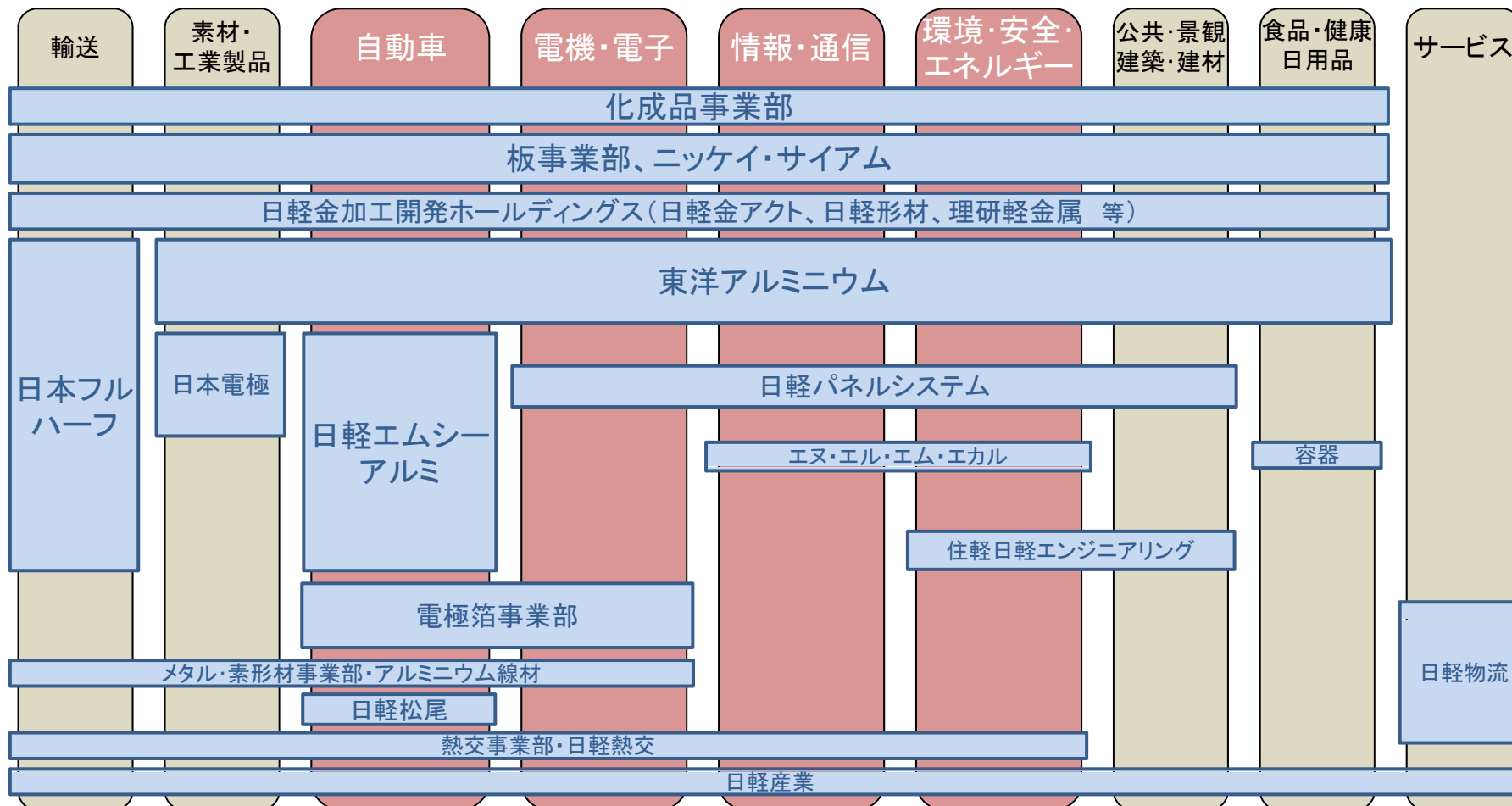
# 主要会社の業績 — 期初予想比



(億円)

	2011年度 実績				2011年度 期初予想			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	1,305	1	25	33	1,338	30	37	36
東洋アルミニウム (連結)	1,056	34	28	4	1,315	100	99	56
日軽エムシーアルミ (連結)	472	7	6	4	446	5	4	2
日本フルーフ (連結)	470	24	21	10	381	4	1	0
日軽金アクト	323	16	18	11	298	13	15	11

# 日軽金グループの事業領域



## 設備投資・減価償却費 — 前期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2012年度 予想	2011年度 実績	差異	2012年度 予想	2011年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	57	87	△30	40	39	+1
板、押出製品	56	46	+10	37	40	△3
加工製品、関連事業	55	40	+15	36	34	+2
箔、粉末製品	70	59	+11	53	57	△4
合計	238	232	+6	166	170	△4